

千秀だより

横浜市立千秀小学校

12月号

平成29年(2017)12月1日



千秀学習フェスティバルに期待する

校長 市川 幸男

季節はいつの間にか秋から冬へと移ろい、気がつくとは街には、クリスマスのイルミネーションが装飾されています。心浮き立つBGMや町を歩く人々の喧噪が、年の瀬に近いことを思い起こさせてくれます。平成29年もいよいよ最後の月となりました。今月末には冬休みとなり、しばらくの間学校はお休みとなります。今年もまた、保護者の皆様や地域の皆様に惜しみないご厚情をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。千秀小学校に通う全ての子どもたちが満足感をもって冬休みを迎えられるよう、職員一同最後まで頑張っていきたいと存じます。

さて今月9日(土)には生活科・総合的な学習の時間での活動の発表「千秀学習フェスティバル」を開催致します。内容的な深まりという点では年度末に開催していた昨年度と比較して、弱いところが見られるかもしれません。でもフェスティバルが活動の終着点でなく、保護者・地域の方々との交流の中でいただいた多様な意見を、自分たちの新たな課題として捉え、さらに活動を深め、広げ発展させていくことが、子どもたちの問題解決能力を高め、「生きる力」の育成につながっていくものと考え、開催時期の変更を致しました。ご理解いただくとともに、大いに子どもたちと交流し、子どもたちが調べ考えてきた研究の今後の姿を想定して、たくさんのご意見を子どもたちに寄せていただければ幸いです。

そのフェスティバルにむけてだと思いますが、先日、職員室の外に5年生の子どもたちが実験用のシャーレとスポイトをもって、所在なげに何分もたたずんでいる姿を見かけました。声をかけてみると、「私たちはフェスティバルにむけ、プールの生き物を調べたいのですが、担任の先生が見つからないのです。」と応えてくれました。そこで「担任の先生がいなかったら何もできないの。君たちにできることは、ただ時間を潰して待っているだけですか。」と投げかけると「はっ」と何かに気づいたようで、職員室をのぞき込み、逡巡しながらも勇気を出して、職員室の先生に声をかけました。そして活動の説明と一緒にプールに行くことを先生に訴えました。もちろん声をかけられた先生は気持ちよく了承し、子どもたちをプールに連れて行き、問題解決に協力してくれました。何気ない子どもの姿ですが、ここにこそ総合的な学習の時間で期待する子どもの姿があるのではないかと思います。総合的な学習の時間では、日常生活や社会に目を向け、自ら課題を見付け、その解決のために、目の前の具体的な問題について情報を収集し、整理・分析したり、知識や技能に結び付けたり、考えたりすることが、大切にされています。子どもたちは、調べたいことは先生と一緒にしなければならないこと。でも担任の先生は来ない。そこで校長の働きかけはあったにせよ、自分の力で問題解決のための工夫をする。この体験で、ひとつ新たな学び方・問題の解決の仕方を身につけたのです。課題の答えを見つけるだけであれば教科書を読めばよいのです。総合的な学習においては答え探しだけでなく、課題を解決する過程を通して、課題に向かい合う積極性や自分なりの方法で工夫・改善する主体性、さらには答えを導き出すといった学び方の獲得も大切にしたいと思っています。

12月9日(土)フェスティバルの場において、そんな子どもたちの姿を多く見られることを期待しています。